

令和4年度 第6回部長会（概要報告）

- ・ 日 時 令和4年8月31日（水）午前9時00分～
 - ・ 場 所 八尾市役所大会議室
 - ・ 出席者 市長・副市長・教育長・病院事業管理者・水道事業管理者・各部局長・理事等
-

【市長あいさつ】

令和4年度第6回部長会の開会に当たり、発言させていただきます。

新型コロナウイルス感染症を巡っては、爆発的な感染者数を記録している第7波は、依然として、ピークアウトの兆しが見えず、陽性者数の高止まりの状況が続いています。特に軽症、中等症の病床の逼迫から、大阪府においては、医療非常事態宣言が9月27日まで延長されました。

そのような中、市民の命と生活を守るため、全庁を挙げて対応に当たっていただき、感謝しております。加えて、8月に引き続き、9月も保健所の応援にご協力いただき、職員の皆さんには、大変ご苦勞をお掛けしております。

本市の職員においても、新型コロナに感染し、また、家族などの濃厚接触者となる事態が相次いで発生し、日常の業務継続に支障をきたしかねない事例もあると聞いております。例えば、職員体制が半減した場合、どうするのか。何を続け、何を中止するのか。どんな体制で臨むのか。今急いでしなければならない業務なのか。この機に、改めて優先順位をしっかりと意識し、業務継続体制を確保していただくことをお願いしておきます。

さて、86人の各課の行政改革推進員の皆さんとの懇談会を実施させていただきました。今回のテーマである行政DXの推進等による業務の効率化について、それぞれの職員さんの意見を聞いたことで、様々な課題の発見や再認識ができました。内容は、現在取りまとめをお願いしておりますが、ひとり一人の職員の問題意識や、課題認識の高さを再認識するとともに、こうした職員の声に耳を傾け、業務改善につなげていくことが重要であると考えているところです。部局長はじめ、管理職の皆さんには、職員の意見を無駄にすることのないよう、部下職員がより一層活躍しやすくなる職場づくりを、改めてお願いしておきます。さらには、部局間の横連携の構築も重ねてお願いしておきます。

まもなく、9月定例会が始まります。12人の議員からの個人質問に始まり、各常任委員会、決算審査など長期間にわたる議会对応となります。部局長や管理職の皆さんにおかれましては、しっかりと準備していただき、自信をもって簡潔にわかりやすく答弁していただくことをお願い致します。

残暑厳しい日々が続いております。皆さんにおかれましても、くれぐれも体調にもご留意いただきますようお願いし、開会のあいさつといたします。

案件

1 包括外部監査の結果に基づき講じた措置等について	政策企画部長
包括外部監査の結果及び意見に対し、各所管において取り組まれた改善措置等については、地方自治法第252条の38第6項の規定に基づき、監査委員へ通知を行い、監査委員より公表が行われます。	
今般、令和4年7月20日までに講じた措置等について、8月24日に監査委員へ通知しましたの	

で、報告します。資料「改善措置等の状況」のとおり、新たに対応済みとなりました件数として、結果が「6件」、意見が「65件」の合計「71件」でございます。

また、改善措置等の内容については、資料「改善措置等を講じた事項」のとおりとなり、後日、監査委員より本市ホームページ及び情報公開コーナーにおいて公開されるとともに、市政だより 11月号にて要約内容の掲載を予定しております。次回、監査委員への通知は、令和5年2月頃を予定しております。

各所管で前向きな検討・改善に尽力をいただいているところではございますが、迅速な対応と市民に対する説明責任を十分果たすことができるよう、引き続き取り組みいただきますようお願いいたします。

特に意見なし

2 阪南大学との包括連携に関する協定締結について

政策企画部長

本市におきましては、近年の複雑化・多様化する社会課題に対応し、市民の多様なニーズに応えながら行政施策を推進するため、企業や大学等の様々な主体と連携し、行政課題の解決や地域の活性化に向けて、公民連携の強化を図っております。

このような中、これまでも地域連携及び地域活性化に関する取り組みなどの連携を図ってきた阪南大学と、密接な連携・協力を積極的に推進することにより、地域のより一層の活性化及び相互の発展と充実を図ることを目的に、令和4年8月25日に包括連携協定を締結いたしました。

協定に基づく連携事項につきましては、「地域連携及び地域活性化に関すること」、「知的及び人的交流に関すること」、「共同による調査研究及び事業の実施に関すること」、「協定の目的達成に資すること」の4項目の連携事項といたしております。

広報・公民連携課では、企業や大学等との定期的な協議・調整等を行い、「顔の見える関係」を築き、公民連携の取り組みの継続と発展に努めるとともに、公民連携による取り組みの成果などを市民に身近に感じていただくために、アリオ八尾の2階にある情報発信コーナーにおいて、公民連携の取り組みを発信しております。

各部局と連携し、期間限定の企画展示も行っておりますので、企画展示や情報発信コーナーを活用した情報発信等を実施したい取り組みがございましたら、広報・公民連携課までご相談ください。

【魅力創造部長】地域連携において、阪南大学との具体的な連携があったのかなど、包括連携協定に至った経過を教えてください。

【政策企画部長】阪南大学は、中小企業地域経済振興基本条例を検討していた頃から関係があり、産業振興アドバイザーにも就任いただきました。また、学生の実学として、商店街などでフィールドワークを行うなど、長きに渡り連携した活動を続けてきており、今回、包括連携協定という形を整えることとなったものです。

【魅力創造部長】現在、さまざまな機関・団体と連携をしておりますので、今後連携協定の話があれば、相談させていただきます。

【政策企画部長】個別の協定を結ぶ場合でも、情報提供をお願いいたします。複数の部局にまたがるような場合など、調整等の協力をさせていただきますので、よろしく申し上げます。

3 大阪・関西万博の 1000 日前 PR 活動と80(やお)アクションの状況報告について

政策企画部長

7月18日に開催1000日前を迎えた大阪・関西万博の機運醸成として、次の2つの取り組みを行いました。

一つ目は、7月23日にリノアスとアリオ八尾の間の連絡通路にて「万博PRデザインの宝くじ府内市町村広報用うちわ」と、「八尾SDGs歯ブラシ」を配布いたしました。また、「万博PRデザインうちわ」は別の日に市内の大規模ワクチン接種会場やその他関係機関などへ配布し、7月中に1000本の配布を完了しました。

二つ目は、大阪府市の万博推進局から万博公式キャラクターがデザインされた「車両マグネットシール」が提供され、本市でも8月1日より公用車に貼り、機運醸成に活用しております。

因みに、万博の公式キャラクターの愛称ですが、万博1000日前の際に「ミヤクミヤク」に決定いたしました。「脈々」と受け継がれてきたいのちや、知恵、技術、歴史や文化をこれからも未来に受け継いでいく希望を込めて、名付けられたようです。ロゴマークにつづく万博のシンボルとして、この機会にお見知りおきください。

機運醸成については、今後も「何日前」などの節目をはじめとして、さまざまな取り組みをしております。現在予定しているものとしては、11月5日、6日に東大阪市の花園中央公園で万博の機運醸成イベントである「HANAZONO EXPO」が開催されることが決まったため、本市の「健康まちづくり」のテーマでPRブースを出す予定です。

また、令和5年2月3日に万博開催800日前を迎えるため、八尾にちなんで独自に800日前の機運醸成の取り組みを検討したいと考えています。

HANAZONO EXPOもそうですが、万博に関する動きについては、急遽決まることがありますが、今後ともみなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

続いて、80(やお)アクション推進会議およびワーキング会議の開催状況についてご報告いたします。

まず一つ目の80(やお)アクション推進会議につきましては、7月1日に第1回会議を開催し、大阪・関西万博への参画に関する情報共有を行いました。本日午後から、事前に開催を通知させていただいておりました、第2回会議を開催させていただきますので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

また、二つ目の若手職員によるワーキング会議の第一回会議は、7月7日に実施し、万博の開催意義でもあるSDGsについてグループワークで理解を深め、日頃の業務や身近な社会課題に対して様々なアイデアを出し合っていました。

ワーキングの第2回会議につきましては、コロナ感染症拡大を考慮し、書面開催といたしました。案件といたしましては次のふたつです。一つ目は第一回のワーキング内容をもとに作成した「市民とともにSDGs達成に貢献するための目標案」について検討いただきました。二つ目は、80(やお)アクションのロゴデザインについて検討いただき、ロゴデザインは3つの案に絞られたため、明日から市のホームページ、さらに市政だよりの10月号で、市民の意見募集を行い決定する予定です。また、目標案については、ワーキング会議案を集約後、SDGs専門家や庁内のご意見を伺ったうえで決定する予定です。

なお、推進会議資料やワーキング会議の会議録につきましては、資料に記載のグループウェアよりご覧いただけます。最後に、80アクションに関連した内容としまして、7月15日からSDGs研修

動画の視聴を開始しております。外部講師の方にわかりやすく解説いただいております、八尾市公式のYouTubeからもご覧いただけますので、是非ご覧いただければと思います。

特に意見なし

4 山本コミュニティセンターの大規模改修に伴うガバメントクラウドファンディングの実施について

人権ふれあい部長

山本コミュニティセンターは、図書館及び出張所を併設した複合施設として、平成8年(1996年)に竣工し、26年が経過しております。この間、地域住民のコミュニティ醸成の場として、あるいは学習の場として利用されてきました。

近年、老朽化に伴い雨漏りが多発している状況であり、安心、安全に利用いただくため、この度、外壁及び屋上の大規模改修を行うこととなりました。

この改修にあたり、ガバメントクラウドファンディングを実施します。また、併せて市外法人を対象とする企業版ふるさと納税も実施します。支援をいただいた方には、施設入口付近での銘板の設置や館内壁面に手形の設置をお礼の品として用意しております。

八尾市民をはじめとする多くの方の支援をお願いしたいと考えております。つきましては、八尾市内外の居住者に関わりなく多くの職員にも参加して頂きますように、ご協力の程、よろしく申し上げます。

特に意見なし

5 消防力の強化応援プロジェクト ガバメントクラウドファンディングの実施について 消防長

今年度、配備から20年以上経過しました15m級の梯子車を最新鋭の屈折放水塔付多機能消防ポンプ自動車に更新整備いたします。また、災害対応特殊救急自動車も更新計画に基づき新規車両に更新整備いたします。

更新整備する消防車両等は年々高性能化に伴い価格も高額になっていることから、今回整備する2台の車両について、整備費用の一部とするため、ガバメントクラウドファンディングを実施し、八尾市民をはじめとする多くの方に支援をお願いするものでございます。

このガバメントクラウドファンディングにおける目標金額は1,000万円で、募集期間は令和4年9月1日から11月30日までとし、お礼の品については、金額に応じて今回整備する消防車、救急車へのネームシールの貼り付けや、乗車、塔上放水体験、そして令和5年1月に実施いたします消防出初式の特等席へのご招待などを用意しております。

消防本部一丸となって消防力の強化の取り組みを進めてまいりますので、多くの職員の参加と市民、地域への周知、広報についてご協力をお願いします。

【政策企画部長】山本コミセンのガバメントクラウドファンディングと同様、民間のサイト(ふるさとチョイス)を活用しているのか。

【消防長】そのとおりですが、企業版ふるさと納税は利用できませんので、ご注意ください。

その他として、危機管理監から、「秋祭り等における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた取組み」について、魅力創造部長から、「第45回八尾河内音頭まつり」について、前回の部長会からの追加報告があった。

最後に植島副市長から、以下の発言があった。

すでに議会への提出資料の徹底した確認を総務課からお願いしているが、議会に提出する前にしっかりと点検し、誤りのないようお願いします。

また、職員のコロナ感染や濃厚接触者となる事例が多数発生しており、さらに職員応援を実施するなど、少ない職員で業務を継続する必要に迫られておりますが、部局長のリーダーシップのもと、どのような状況となっても業務を継続できるよう対応のほどよろしくお願いします。

最後に、感染者数が減らない中、明日から保健所への部局間応援をお願いしているところです。保健所においても、これまでの経験を活かしてさまざまな改善を行っておりますが、まだ改善できる部分があるので、各部局からも部局間応援とともに、ご提案等についてもお願いします。